



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

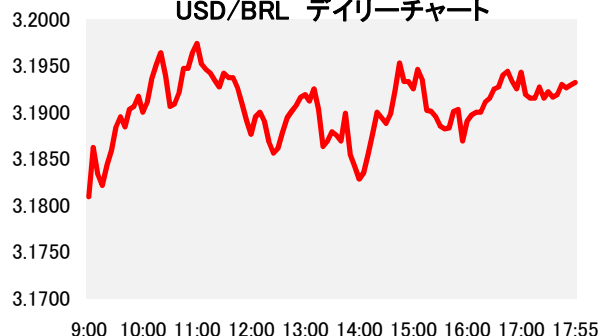
			9月21日	9月22日	9月25日	9月26日	9月27日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1380	3.1250	3.1600	3.1660	3.1930	+0.0270
	BRL/JPY	Spot	35.84	35.84	35.35	35.46	35.33	-0.13
	EUR/USD	Spot	1.1939	1.1950	1.1847	1.1791	1.1750	-0.0041
	USD/JPY	Spot	112.48	111.99	111.70	112.26	112.80	+0.54
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.258	7.230	7.226	7.203	7.210	+0.007
	Future	1Year(p.a.)	7.175	7.153	7.159	7.127	7.145	+0.018
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.332	2.395	2.561	2.442	2.394	-0.048
	USD	1Year(p.a.)	2.472	2.517	2.605	2.558	2.522	-0.036
株式	Bovespa指数	75,604.38	75,389.75	74,443.50	74,318.75	73,796.69	-522.06	
CDS	CDS Brazil 5y	203.42	201.28	205.35	203.80	203.13	-0.67	
商品	CRB指数	183.396	183.569	184.609	183.396	183.861	+0.46	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	-0.07%	-0.02%	-0.04%
PPI 製造業(前月比)	--	0.12%	-0.98%
PPI 製造業(前年比)	--	1.27%	0.77%
ローン残高(前月比)	--	-0.1%	-0.9%
融資残高	--	3047b	3051b
個人ローン・デフォルト率	--	5.7%	5.7%

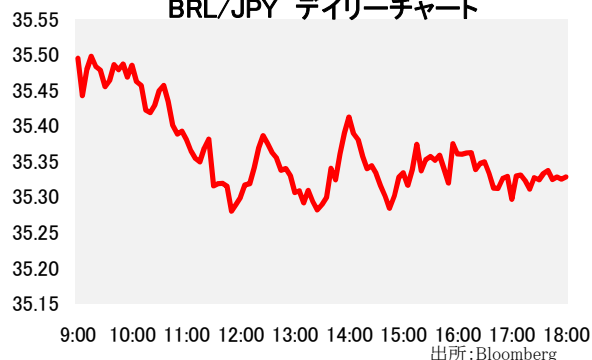
USD/BRL デイリーチャート



3. 要人コメント

ブラード 米セントルイス連銀総裁	現在のマクロ経済データを踏まえると、現行の政策金利水準は適切だ。
---------------------	----------------------------------

BRL/JPY デイリーチャート



4. トピックス

- 本日のリアルは3.1860で寄り付いた後、直ぐさま日中高値となる3.1810を付けた。しかし昨日のイエレン米FRB議長のタカ派的な発言を受けてドルが対主要通貨で買われる中、リアルは一気に本日の安値となる3.1970まで反落した。その後、トランプ米大統領の税制改革の枠組みに早速反論が出たことでドルが売り戻されると、リアルは一時的に3.18前半半まで上昇。しかし引けにかけて再び小緩み、結局3.1930でクローズした。
- また、米10年債利回りが約2カ月振りの高水準を付けたが、引けにかけては伸び悩んだ。
- ブラジルではエネルギー銘柄を中心にほぼ全銘柄が下落した結果、ボベスパ指数は5日続落となった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。